

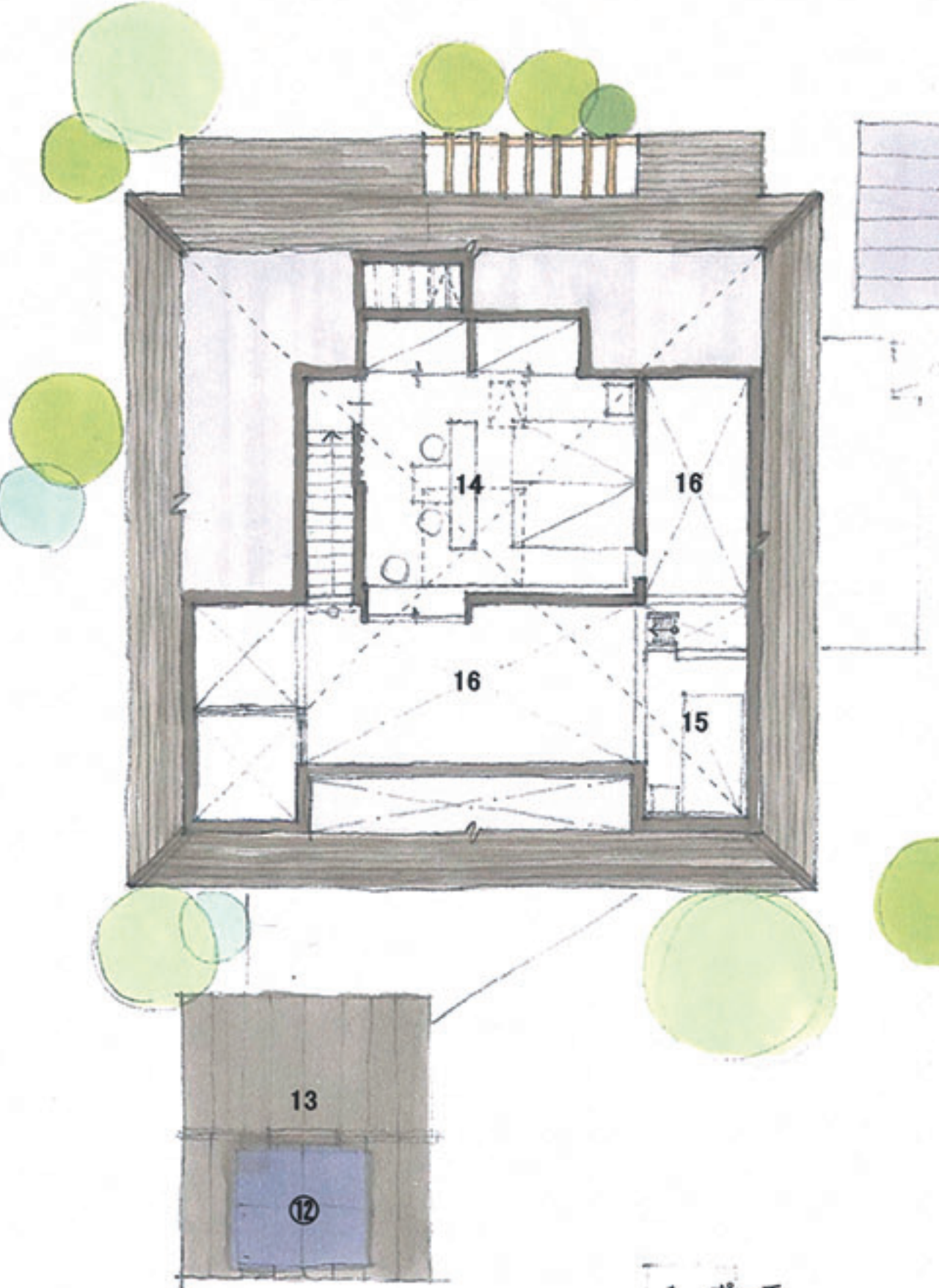
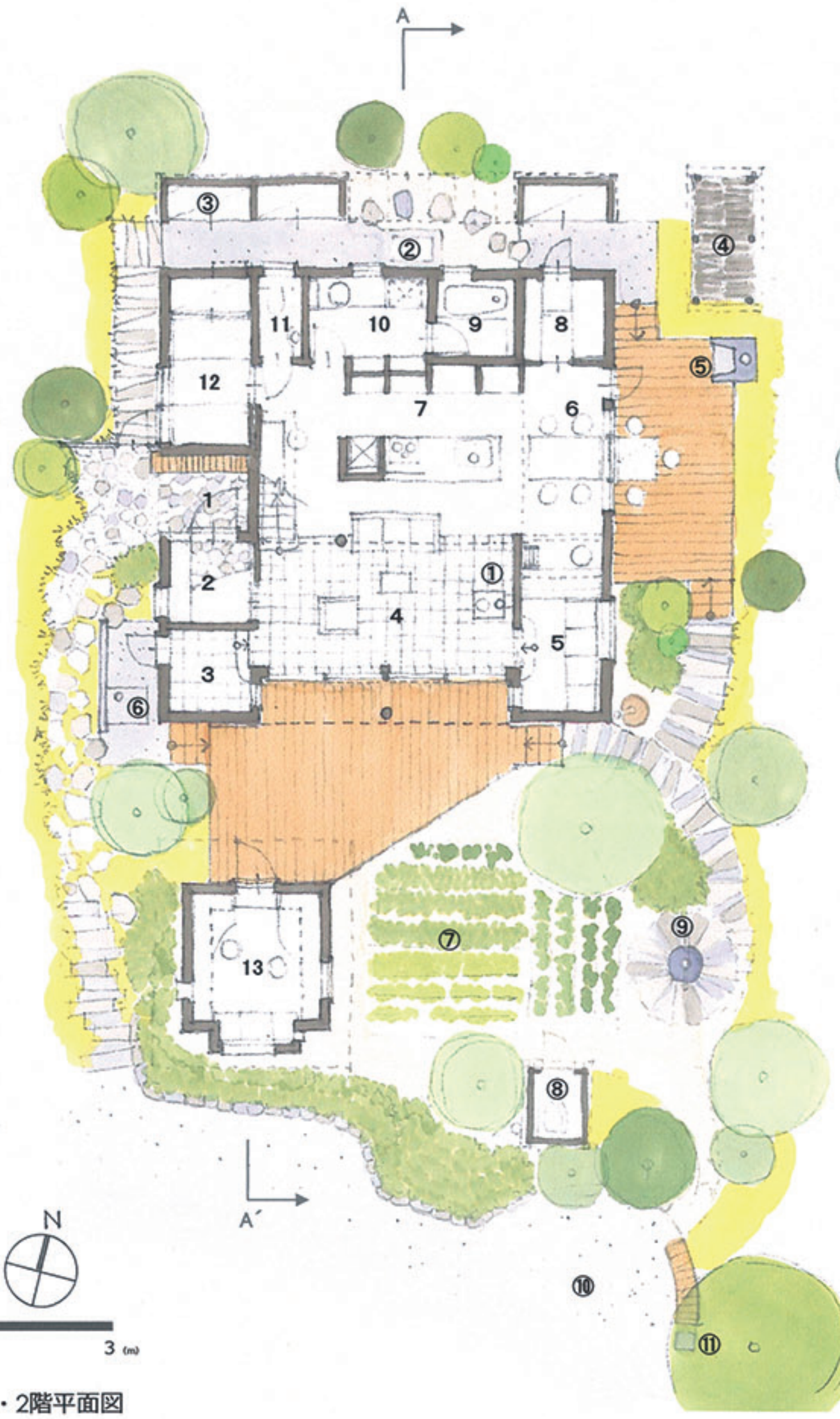
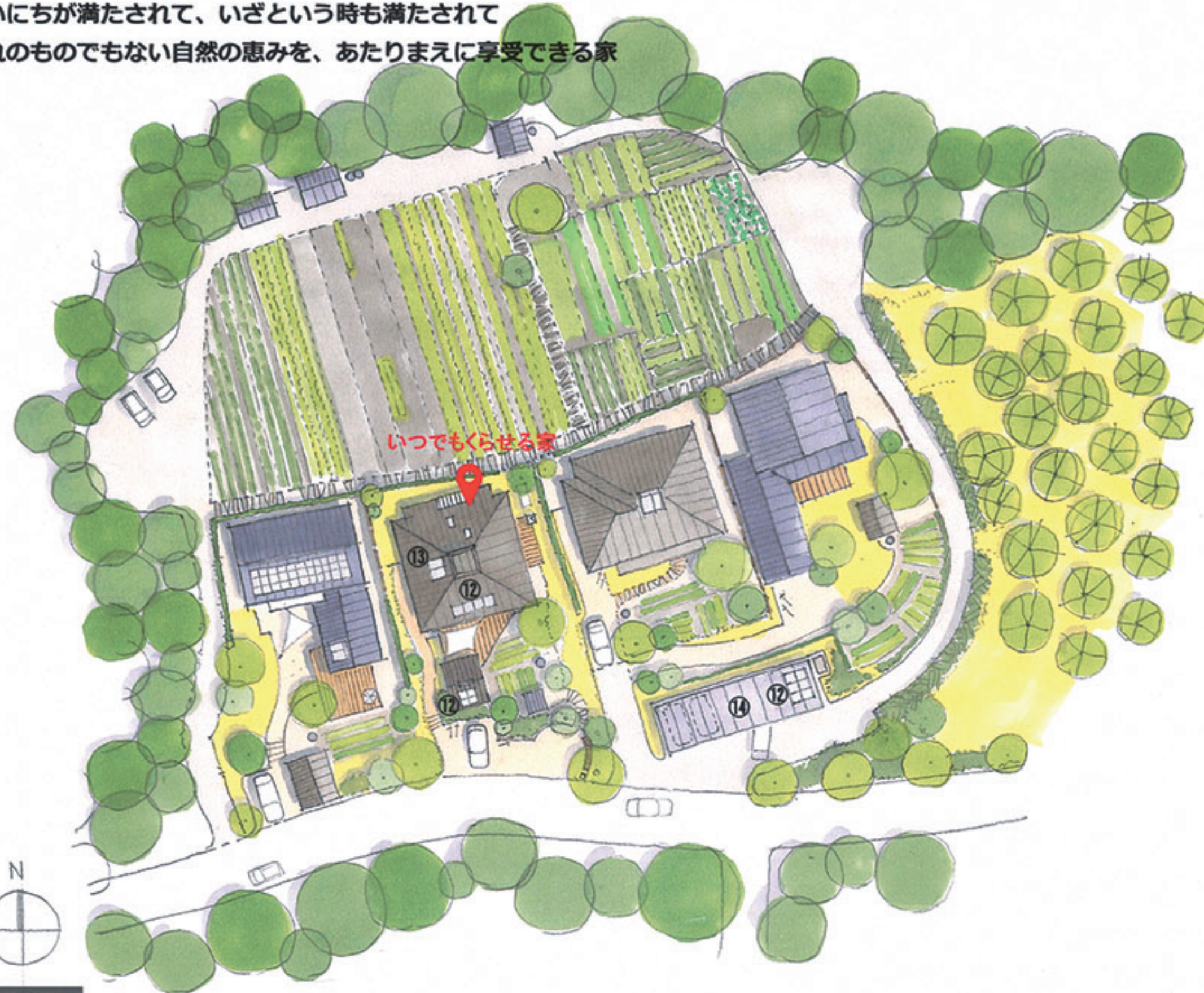
いつでもくらせる家

“太っ腹”

ふとっばらでいられる暮らし

まいにちが満たされて、いざという時も満たされて

だれのものでもない自然の恵みを、あたりまえに享受できる家



- 建っているトコロ
- ・新宿から約50km、東京都西部の緑豊かな丘陵地、地域区分5地域
 - ・周辺に住宅は少なく、4軒が軒を並べるコミュニティ
 - ・大地震が発生すると、避難所への道路が寸断され、援助が届かない可能性がある立地
- 暮らしているヒト
- ・40代後半夫婦+10歳娘+2歳雑種犬メス
 - ・敷地内に立つ小屋で仕事をする、職住近接型のライフスタイル

1階・2階平面図

- ① 薪ストーブ
 - ② 太陽熱利用給湯システム
 - ③ オフグリット用バッテリー
 - ④ 薪置き場
 - ⑤ 炉
 - ⑥ 外水道
 - ⑦ 菜園
 - ⑧ コンポストトイレ
 - ⑨ 井戸
 - ⑩ なんとなく集う場所
 - ⑪ 充電ステーション
 - ⑫ オフグリット用太陽電池モジュール
 - ⑬ 太陽熱集熱板
 - ⑭ 集合駐車場
- 1 ポーチ
 - 2 玄関
 - 3 犬の部屋
 - 4 リビング
 - 5 ニッチ
 - 6 ダイニング
 - 7 キッチン
 - 8 食品庫(備蓄庫)
 - 9 浴室
 - 10 洗面・脱衣室
 - 11 トイレ
 - 12 和室
 - 13 仕事小屋
 - 14 主寝室
 - 15 子供室
 - 16 吹抜け

まいにちを暮らす

初春、ニッチのソファに腰掛、大好きな本を読む。子供が帰ってきた、そろそろ夕食の支度しようか。今日の夕食は、お隣の畑の新じゃがとキャベツ。薪ストーブでポトフにしよう。あれ、薪が足りない、薪置き場から取ってきて。パンもない、回転備蓄の缶詰パンを出そう。いつものくらしがいつものように流れる、豊かな時間。



友人が集う

夏の休日、今日はデッキでおそとランチにしよう。友人がそろったところで、キッチンのテーブルを囲んで下準備開始。庭の杏で作ったジャムとチーズでオードブル。ダッチオープンにじゃがいも、にんじん、マリネした鶏肉を仕込む、炭火でじっくり。スモークは朝から煙をはいている、塊のお肉やサーモンをスモーク。多めに作って保存食にしましょう。



なんとなく集う

小さなコミュニティ。みんなが庭先をなんとなく提供した。そしたら、なんとなく集える場所が生まれた。秋の朝、菜園に雨水をまいていたらお隣さんが顔を出す、よもやま話と物々交換。ワンコの散歩に出ようとしたら、お友達ワンコがやってきた。水飲んで少し休んでいけば。ついでに充電ステーションで携帯の充電どうぞ。だれのものでもない場所がなんとなく豊かな関係を作る。



災害時を暮らす

冬の朝、大地震が発生。停電、断水、排水経路の破壊。避難所への道は寸断されたが、我が家は損傷無し。部分的オフグリットが本領発揮。電源確保。太陽熱利用システムに貯湯槽あり。お湯少し確保。井戸水、雨水タンク、問題なし。生活用水確保。薪ストーブ燃えています。暖房確保。庭先のコンポストトイレ、本格稼働。集合駐車場の充電ステーション、いつも通り稼働。なんとなく集ういつもの場所に、フラッグ立てしましょう。電気、水、暖房、トイレあります。どうぞお使い下さい。



A~A' 断面図

オフグリット電源がある仕事小屋は、災害時の情報収集センター

普段は自家用、災害時は開放するコンポストトイレ

庭先を開放したみんなが集える場所、普段使いの充電ステーション